

原発事故の被害の実態から考える原発政策 ～被災地の現状と今後の課題～



福島原発の事故から13年が経過しました。残念ながら、福島県外に住む多くの市民にとって、原発事故は過去の出来事になりつつあります。そして政府は、これに便乗し、再び原発推進に舵を切り出しました。

しかし、今も避難指示が続く地域はもちろん、避難指示が解除された地域においても、未だ復興は果たされておらず、地域の存続すら危ぶまれる状況にあります。

原発事故は、地域からいったい何を奪ったのか。事故発生直後から避難者の集団訴訟に関わってきた弁護士が、訴訟の中で明らかにしてきた、原発事故の被害を受けた地域の現状、今後の課題などについてお話いたします。

どうぞお気軽にご参加ください。

日時 2024年6月1日（土）午後1時半開始

場所 渋谷男女共同・ダイバーシティセンター（アイリス）

東京都渋谷区桜丘町23-21 渋谷区文化総合センター大和田8階

※会議室は「たんぽぽ」の名前で借りています。

参加費 無料

講師

弁護士 米倉 勉

弁護士 高橋 右京



〈電車でお越しの方〉

JR渋谷駅 西口から徒歩5分

〈バスでお越しの方〉

大和田シャトルバス
(ハチ公口ー文化総合センター大和田)

ハチ公バス (タヤけこやけルート)

※どちらもバス停「渋谷駅ハチ公口」から乗車、
次のバス停「文化総合センター大和田」下車。

〈お問い合わせ〉

渋谷共同法律事務所

TEL: 03-3463-4351

<https://www.shibuyakyo-do-law.com/>